

### 審査委員長 香山 壽夫

**提案部門**▶すべて良い作品というものは、新鮮なイメージで私達を驚かせるが、同時にそれが一方で私達がすでにどこかで見たか経験した遠いイメージとつながっていて、そのことでもう一度驚かされることになる。最優秀賞の**松井案**はまさにそのようなものであって、ガラスと本で二重に包まれた光の空間は、新鮮でかつ本を読む初源のなつかしさを呼び覚ます。優秀賞の**新森案**は、閑谷学校の石垣を着想した点は共感するが、それをいかにして半透明なものとするのか、充分に示されていないのが残念。**堀越・工藤案**は、都市の現状を直視した上で内容豊かな提案としている点で図抜けている。この空間の変化に富む面白さをパースにもっと表現して欲しかった。**木原・阿部・沼尾案**の昼と夜で開閉する境界というイメージは面白いが、どのようにしてそれが具体化されるのであろうか。

**作品例部門**▶最優秀賞の「桜の宮ゴルフ倶楽部」は、美しい線の中に起伏する大地の上を屈曲しつつ流れていく、ガラスブロックの壁の際立った美しさで、審査委員一同の目を引きつけた。文句なしの最優秀賞だと言いたいだろう。レイヤードガラスは、造形家なら誰も使ってみたいと思う魅力的な素材だが、優秀賞の「Life Grace」はそれを、ストレートに生かしている点が見事だ。「国際弘教学大学院大学 四方寮」のガラスブロックの壁は、騒がしい都市の空間を一転して静寂な内部に変えるガラスブロックの魅力を最高に生かしている。「Life Gold Lab」もグラソア、アクラスをいっそう素材の特徴を見事に生かして、魅力的な空間を作り上げることに成功している。「丸井・喜多ビル」の地下の列柱で用いられているつや消しのネオパリエも、味気無くなりがちな地下空間に潤いを生み出すように巧みに用いられていて感心した。

### 審査委員 村上 徹

**提案部門**▶最優秀賞に選んだ**松井案**は、様々な形状のガラスブロックをアーチ状に積み上げ、明るい図書館と、暗くした内側に一条の光が差し込む路空間と呼ぶ場としている。断面で示された巨大なスケールや途中を省略した平面が効果的で、魅惑的とも感じとれる程に圧倒的な迫力がある。優秀賞の**新森案**は、地域と学校の境界のあり方を提案していた中で一番の魅力を感じた。閑谷

学校の石積をメタファーとした光のトンネル、内部を空洞化した外縁は岩石状のガラス質の組み込みによって昼夜ともに美しいであろう。入選となった**堀越・工藤案**の衰退していく商店街を改変し活性化する提案は説得力がある。欲を言えば、道空間の屋根にもガラス質での提案が欲しかった。また入選の**鈴木・酒井案**は耐震改修というタイムリーなテーマを選び、全てを変えつつ、全てを残す再生案、プレゼンテーションも見事である。是非に実現させてほしい美しいガラス建築である。

**作品例部門**▶応募案を一見し、最も印象的であったのが最優秀賞の「桜の宮ゴルフ倶楽部」である。単純さのためなのか、ガラスブロックが実に清々しく感じられる。樹々や芝生の緑の対比により、透明感も増している。また普段は目地が煩わしく、目立たなく等々と頭を悩ますのだが、ここでは白い目地さえも美しく感じられる。優秀賞の「Life Grace」は重ね合わせガラスの量塊感とその連続性を合わせ鏡の効果でより助長させている表現を高く評価する。入選となった「蛇牟田川排水機場」の遮音壁として用いたガラスブロック、「ケヤキアパートメント」のサインの表現のグラソア、この両案は、ファサード計画でのガラス質部分の緻密な表現や、全体のプロポーションに好感が持てる。

### 審査委員 小嶋 一浩

**提案部門**▶最優秀賞の**松井案**と優秀賞の**新森案**は、実は接戦だった。**松井案**は本と空洞状ガラスブロックをセットにすることで、本を取り出すという行為と光の状態の微妙な変化をリンクさせたものである。建築として見た時のリアリティはさておき、そのドローイングは美しく、喚起力がある。**新森案**は、学校の周囲を何らかのガラス質で囲うという今回多く見られた提案の中で傑出して質の高い空間を描き出して見せてくれた。そこには静けさを感じることができる。閑谷学校の土壘をインデックスとしたことが、想像力をかき立てると同時に提案をわかりにくくしていて賛否を分けたかもしれない。**堀越・工藤案**は、商店街に学校をオーバーレイすることで課題に正面から応えている。**山中案**、**横前案**も各々にガラス質の用い方において類似例が多く見られた中ではドローイングが美しく、実現したならば現れるであろう空間の魅力が上手に描き出している。**山崎案**のプリズム効果を持つガラス質を透過する柔らかな逆光の空間には、それが普通の教室などとはかけ離れているなどと野暮なこ

とはいわないで、その光に対するセンスに感じ入った。**作品例部門**▶最優秀賞の「桜の宮ゴルフ倶楽部」は、こういうプロジェクトもあるんだとらやましくなるような恵まれたランドスケープの中でのガラスブロックの使い方において、余計なことをやらない単純さとクリアさが光るものだった。優秀賞の「Life Grace」は、レイヤードガラスとLEDに鏡を組み合わせて小さな場所に新しい試みを挿入している。「ケヤキアパートメント」のグラソアを用いたエントランスは切れ味がいいのだが、情報が過剰なプレゼンテーションで損をしたかもしれない。

### 審査委員 三宅 雅博

第17回空間デザイン・コンペティションも、おかげさまで数多くの応募をいただくことができました。関係者各位、ならびに応募者の皆様に深く感謝申し上げます。これまでの17回の受賞者の中には、提案部門、作品例部門ともに、複数回受賞されている方や、当コンペティションで受賞された後に、新進気鋭の建築家として活躍されている先生方もいらっしゃいます。当コンペティションを続けることが、若手建築家の皆様が世に出るお手伝いになっているのではないかとと思うと、主催者の一員として非常に喜ばしいことと感じております。

**提案部門**▶最優秀賞の**松井案**は「星降る図書館」という正に絵本の世界を感じさせるほのぼのとした作品でした。図書館側はカラフルな背表紙が創る彩のある明るい空間、路側は本が抜き取られた部分から暗闇の中に光が差し込むプラネタリアムのような神秘的な空間。表裏に全く対照的な空間を創り出したすばらしい発想であったと思います。優秀賞の**新森案**は学校の周囲にガラスブロックを積み上げて回廊を作るといった提案であり、その塀は騒音や外部からの侵入者を防ぐが、光は柔らかく透過し、外部から完全に遮断してしまうことはない。半透明なガラスブロックを持つ特性を上手く活かした作品でした。

**作品例部門**▶最優秀賞の「桜の宮ゴルフ倶楽部」では、自然の中の新緑と木漏れ日と透明なガラスブロックが、何とも言えない心地よい空間を創り上げている作品でした。一方、優秀賞の「Life Grace」では、積層ガラスを照明器具に用い、人工的に光をコントロールすることで幻想的な空間を演出した作品でした。両作品を通じガラス建材の意外な活躍の場を教えてくださいたいと思います。

(敬称略)

### 審査風景

